

泉南アスベスト国会通信

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団 / 弁護団

「泉南アスベスト国賠訴訟 映画と早期解決を求める院内集会」を開催！

1 3月22日、熱気あふれる院内 集会を開催

3月22日、超党派の有志議員の呼びかけによる「泉南アスベスト国賠訴訟 映画と早期解決を求める院内集会」が、160名の参加で開催されました。当日は、泉南アスベスト訴訟の闘いを描いたドキュメント映画も上映され、全員で「2陣高裁判決を機に、泉南ア



160人が参加した「映画と早期解決を求める院内集会」(3月22日)

2 早期解決へ向けて、国会議員 の皆さんから激励のご挨拶

スベスト被害の早期全面解決を求めるアピール」を採択しました(裏面に全文を掲載)。

院内集会には、自民、公明、民主、維新、みんな、共産などの国会議員や秘書の皆さんが多数参加され、「2陣高裁判決を機に今度こそ解決に尽力したい」などの激励が相次ぎました。以下に一部をご紹介します。

○佐田玄一郎衆議院議員(自民党) いのち

や健康より産業発展が優先するとした1陣高裁判決は本当に酷い不当判決。2陣高裁は必ず勝利しなければなりません。この問題は与党も野党もありません。早期解決のため、団結して頑張りましょう。

○谷博之参議院議員(民主党) 民主党政権

時代、泉南アスベスト問題の早期解決を訴えたが力が及びませんでした。石綿被害についての国の責任は重い。これからの闘いを通じて、1日も早い解決のため、皆さんと一緒に頑張りましょう。

○丸山穂高衆議院議員(日本維新の会) 地

元泉州の問題。一進一退ですが、世論を通じて解決の形ができてきました。これ以上、原告が亡くなる前に、早期解決ができるよう全

力で頑張ります。

○川田龍平参議院議員(みんなの党) 泉南

の皆さんとは長いおつき合いになっていきます。その間に亡くなられた原告の方が9名。いのちと健康を大切に政治の役割をきちんと果たしていきたい。

○田村智子衆議院議員(日本共産党) 映画を観て、原告の「長い裁判になったなあ」という言葉が胸に突き刺さりました。被害者にこういう言葉を言わせることのないように、頑張りましょう。

3 2陣高裁、年内には判決の見込み

2陣高裁は、5月15日に証人尋問が行われ、早期結審、判決に向けて動き出しています。早ければ今秋、遅くとも年内の判決が予想されます。私たちは、2陣高裁において、いのちや健康が何よりも尊重される「正義の証」、被害者が救済される判決を何としても勝ち取る決意です。

そして、国会議員の皆さんには、来る2陣高裁判決を機に、政治の力による1日も早い解決へ向けて、一層のご尽力をお願い致します。

2陣高裁判決を機に、
泉南アスベスト被害の早期全面解決を求めるアピール

泉南地域は、100年に亘る石綿紡織業の集積地でした。戦前は軍需のために、戦後は産業発展のために石綿紡織品の生産を一手に担ってきました。その陰で、早くから深刻な石綿被害が発生しました。泉南アスベスト被害は、わが国の経済成長を下支えする中で発生した石綿被害です。

平成18年5月、国の責任を問う裁判を提起してから、今年で8年目を迎えます。この間に9名の原告が亡くなりました。

激しさを増す咳と痰、呼吸困難。酸素チューブにつながれた不自由な生活は、家族を巻き込み、平穏な生活を破壊します。仕事を失い、生き甲斐を奪われ、最後には生命をも奪われます。私たちは、今、日々の病苦、そして、死の恐怖と闘いながら、国と闘っています。

司法は、すでに国の責任を2度にわたって明らかにしました。まもなく、大阪高裁が3度目の原告勝利の判決を下すことを、私たちは確信しています。国は、石綿被害の実態を知らず、有効な規制や対策を怠りました。その責任が3度に亘って糾弾されながら、救済を先延ばしにすることは許されません。

「命あるうちに解決を」は、私たちの譲ることができない切実な願いです。これ以上、解決を見ず、無念のうちに亡くなる原告が増えるのは耐えられません。

国は、来る2陣高裁判決を機に、解決へ向けて、私たち原告団との話し合いのテーブルに着いて下さい。そして、政治の力で、1日も早く、泉南アスベスト問題を解決することを求めます。

平成25年3月22日

大阪・泉南アスベスト国家賠償請求訴訟原告団・弁護団
泉南アスベスト国賠訴訟の早期解決を求める院内集会参加者一同